

## 松阪発バイオ技術 タジキスタンへ

### 甘草加工事業で生じる回収上液を利用するバイオ肥料を開発

独立行政法人国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において宏輝システムズ株式会社(三重県松阪市、吉田直正代表取締役)が提案する「甘草加工事業工程における回収上液を利用したバイオ技術基礎調査」(タジキスタン)を採択しました。

タジキスタンは旧ソ連から独立後、内戦を経て、現在では経済発展と貧困削減を国家再建の最優先課題としています。同社は2013年よりJICAのBOPビジネス連携推進スキームを活用した「甘草生産事業準備調査」を実施し、貧困層の農民組織化を図り、甘草根の生産販売事業を通じ貧困削減を推進してきました。甘草はマメ科の多年草で、根の部分が漢方薬の原料となります。

本調査では、宏輝システムズが独自開発した、甘草加工事業工程で生じる回収上液(廃液)を中和し肥料として再利用し、甘草の成長を早めるバイオ肥料生産技術の導入と、根挿による甘草人工栽培技術の現地法人への移転、及び定着化を図ります。現地合弁事業の運営改善を通じ同国の地方(ハトロン州)経済への貢献、貧困削減、甘草資源保護強化、現地農業の有機栽培化、及び循環型社会の形成が期待されます。



回収上液を利用した甘草生育実験



合弁事業工場  
AVALIN 社

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度は本年2月に第1回目の公示を行い、41件の応募のうち12件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部国際センター 市民参加協力課 吉田、梅村  
TEL: 052-533-1387 E-mail: jicacbic-ppsp@jica.go.jp